

第24回環境技術学会年次大会

■期日:2024年9月25日(水) 研究発表会・講演会・表彰・交流会

■会場:大阪公立大学杉本キャンパス(大阪市住吉区杉本3-3-138)

■主催:環境技術学会 ■共催:大阪公立大学・日本水環境学会関西支部・

廃棄物資源循環学会 ※共催の日本水環境学会・廃棄物資源循環学会会員も会員価格で聴講できます。

大会専用サイト(年次大会案内 URL): http://jrjet.net/blog_taikaiinkai/ (QRコードからお申し込み下さい)

土木学会認定 CPD プログラム 認定番号:JSCE24-1026 単位数:5.4 単位



(1)聴講者参加費:会員 6,000円,学生会員 4,000円,非会員 10,000円

(2)講演会のみ参加費:会員 1,000円,非会員 2,000円(年次大会参加者は,申込なしで参加できます)

(3)交流会参加費:一般(会員・非会員) 7,000円,学生会員 3,500円 ※聴講と一緒に申し込みください。

(4)申込スケジュール:2024年5月13日(月)~9月13日(金)

※聴講と交流会とも,当日,会場でも参加申込みを受け付けます。ただし会場でのお支払いの場合は,1,000円の追加料金をいただきます。できるだけ事前に申し込みの上,9月13日(金)の期限までに事前支払いをお済ませください。

(5)支払い方法:事前に支払いは,ゆうちょ銀行への振り込みかクレジット決済をお願いします。詳細は下記を参照願います。

https://jrjet.net/blog_taikaiinkai/?page_id=27

(6)予稿集の公開:予稿集PDF版は9月初旬に大会専用サイトに掲載します。

※発表者・聴講者(講演会のみ参加者を除く)全員に,カラー版の予稿集(A4版の印刷冊子)を,当日,受付で配布します。

お問合せ先:環境技術学会大会委員会(E-mail) taikai_info@jrjet.net

全体プログラム

9:00~9:30	受付	14:15~15:00	研究発表会 第4セッション(3会場)
9:30~10:30	研究発表会 第1セッション(4会場)	15:30~17:00	講演会
10:45~11:45	研究発表会 第2セッション(4会場)	17:15~17:45	表彰式・閉会式
11:45~13:00	(昼食休憩)	18:00~19:30	交流会
13:00~14:00	研究発表会 第3セッション(4会場)		

研究発表会(会場:全学共通教育棟4階)プログラム A1(1)D2(1):セッション番号,【セッションテーマ】

(P:プレゼンテーション賞対象、J:実務・社会貢献賞対象) 座長 / 副座長

会場	Room A(842号室)	Room B(843号室)	Room C(844号室)	Room D(845号室)
分野	A1(1)【汚泥処理/微生物】P 中西智宏/水野忠雄	B1(1)【汚水処理】P 中島 淳/藤原 拓	C1(1)【廃棄物処理】 矢野順也/酒井 護	D1(1)【環境汚染物質】 【環境教育・社会貢献】J3-4 米田 稔 / 仲上健一
9:30 ~ 9:45	A1-1 野島啓(大阪公立大) 焼却炉の閉塞トラブル防止対策に向けた下水汚泥中の低融点化合物の存在調査	B1-1 山本輝宏(立命館大) アゾ染料リアクティブオレンジ16の微生物による脱色前後のミジンコ急性毒性の評価	C1-1 外村優河(東工大) 液体金属流体との直接接触反応による副生塩等のリサイクルに関する研究	D1-1 藤長愛一郎(大阪産大) 微生物燃料電池による昇圧回路を用いたリチウムイオン蓄電池の充電
9:45 ~ 10:00	A1-2 Wang Xiangyang オウシャ ンヤン(岐阜大) Recovering Phosphate from Sludge-incinerated Ash by Modified Biochar as a Soil Conditioner and P-fertilizer	B1-2 CHEN ZHENG チン セイ(立命館大) ヨシを植栽した人工湿地による坑廃水からのマンガンの連続式除去	C1-2 藤川陽子(京都大) 処分場の日毎の浸出水量推定の予測計算と実データとの比較等	D1-2 大沼みお(広島商高専) 微細藻の燃料実装化への5つの課題
10:00 ~ 10:15	A1-3 中村植吾(山口大) メタン生成細菌の低温域での馴致とその適応性	B1-3 Min Kyungsoo ミンキョンス(京都大) マシンラーニングを用いた下水流入量の長期予測	C1-3 平井康宏(京都大) 廃棄物広域処理における施設建設の多期間最適化	D1-3 河村翔(地球研) ゴミゼロアプリ活用による大阪ブルーオーシャンビジョン達成に向けた活動事例紹介
10:15 ~ 10:30	A1-4 王旭 オウキョク(東北大) 下水汚泥のメタン発酵におけるアンモニア窒素阻害とそのモニタリング指標の検討	B1-4 王惟一 オウユウイ(東北大) ハイブリッド型アナモックス反応槽のスタートアップと処理性能	C1-4 矢野順也(京都大) ガラスびんリユース循環システムのライフサイクル分析	D1-4 水野充彦(日本生命財団) 日本生命財団の環境問題研究助成のあゆみ
分野	A1(2)【環境汚染物質】P 水野忠雄 / 中西智宏	B1(2)【汚水処理】P 藤原 拓 / 中島 淳	C1(2)【廃棄物処理/資源循環】 酒井 護 / 矢野順也	D1(2)【地球環境/大気環境】 仲上健一 / 櫻井伸治
10:45 ~ 11:00	A1-5 山内佑典(大阪公立大) バッチ試験を用いたPFCAs・	B1-5 毛利築(岐阜大) 空気賦活前段処理を用いて調製した窒	C1-5 阿部憲一(新潟食料農業大) と畜場廃棄物である牛乳	D1-5 本庄孝子(元産総研) 再生可能エネルギーは主力電源?

研究発表会(会場:全学共通教育棟 4 階)プログラム A1(1)D2(1): セッション番号, 【セッションテーマ】
(P:プレゼンテーション賞対象、J:実務・社会貢献賞対象) 座長 / 副座長

会場	Room A(842 号室)	Room B(843 号室)	Room C(844 号室)	Room D(845 号室)
	PFASs のガラスビーズへの吸着量の評価	素ドープ活性炭触媒による微生物燃料電池のカソード性能の向上	ーメン液のメタン発酵処理による再資源化	
11:00 ～ 11:15	A1-6 羽根萌恵(岐阜大) 海岸で採集したプラスチック片に含まれる多成分新興汚染物質の LC-QTOF/MS 一斉スクリーニング	B1-6 葉敏 ヨウ ビン(東北大) 鉄循環を利用した有機物回収と嫌気性 MBR 型メタン発酵の組合せによる下水処理システムの革新	C1-6 王秀崙 オウ シュウロン(三重大) 廃棄植物バイオマスをを用いたハイブリッドマルチシートの開発研究	D1-6 佐野寛(地球エネルギーシステム研) 「砂漠+反射材」による地球温暖化制御
11:15 ～ 11:30	A1-7 竹内終登(大阪工大) 有機フッ素化合物の燃焼による無機化および回収率向上のための研究	B1-7 範鳳龍 ファン フォンロン(京大) Antibiotics, Antibiotic Resistant Bacteria (ARB) and Antibiotic Resistance Genes (ARGs) Removal in secondary effluent by Innovative Ozone-cathode microbial fuel cell (O-MFC)	C1-7 Seo Jungguk セオ ジョング(東工大) 低温の液体錫合金を用いた CO ₂ 直接変換技術による有価資源の生産に関する研究	D1-7 上野裕士(内外エンジニアリング) 農山村の脱炭素化、食料安定供給、地域課題の同時解決を実現する新たな土地利用政策体系の構築
11:30 ～ 11:45	A1-8 藤田昂志(滋賀県立大) 水田流域からのマイクロプラスチックの流出	B1-8 馬澤華 マツカ(東北大) 一槽式 PN/A における NOB 抑制剤に関する研究		D1-8 中尾賢志(大阪市立環境科学研究センター) 大阪市内浮遊粉じん中マイクロプラスチックの長期変動解析の試み
分野	A2(1)【資源循環/水道浄化処理】 澤田和子/和田桂子	B2(1)【廃棄物処理】P 島田洋子/藤本恵美子	C2(1)【汚水処理】 沈 尚 / 市木敦之	D2(1)【微生物/水処理/廃水処理】 多田悠人/櫻井伸治
13:00 ～ 13:15	A2-1 山本大輝(龍谷大) 薪ストーブ燃焼ガス中 CO 低減のための酸化金属触媒の実用化研究	B2-1 塩路育美(鴻池組) バッチ式乾式メタン発酵プラント導入に向けての検証	C2-1 惣田訓(立命館大) 藻類-細菌系連続式リアクターによるメチルパラベン除去	D2-1 泉山信司(国立感染症研究所) 入浴施設の衛生管理の手引・指針の検討
13:15 ～ 13:30	A2-2 田邊裕樹(立命館大) 下水から回収したりん酸マグネシウムアンモニウムによるアマモ育苗の施肥試験	B2-2 横路尚人(川崎重工) ごみ炭化技術によるごみ由来の炭素回収貯留(CCS)	C2-2 赤尾聡史(同志社大) 下水処理水による <i>Chromochloris zofingiensis</i> の培養	D2-2 渡邊美紀(山口大) 導電性コンクリートによる下水管渠の長寿命化
13:30 ～ 13:45	A2-3 八木亮成(兵庫県立大) 木質バイオマス燃焼灰の藻類培養への活用研究	B2-3 香山実希(川崎重工) 協働ロボットを適用した AI 搭載資源ごみ選別作業支援システムの運用事例	C2-3 福嶋俊貴(メタウォーター) 下水処理場流入水質の連続計測と 運転管理への活用	D2-3 鶴澤武俊(大教大) 室温でポリ乳酸を分解する微生物の分離の試み
13:45 ～ 14:00	A2-4 篠田尚也(岐阜大) pH と加熱温度が銀担持活性炭の銀分布状況に及ぼす影響とその抗菌性評価	B2-4 加藤颯(大阪公立大) 酸化還元滴定を用いた飛灰混合液の酸化還元特性の評価	C2-4 木内正人(大阪大) 活性化化石炭による循環冷却水の微生物浄化	D2-4 保科宏行(量子科学技術研究開発機構) 超高速処理が可能なホウ素除去技術の開発
分野	A2(2)【バイオ燃料】P 和田桂子/澤田和子	B2(2)【廃棄物処理】P 藤本恵美子/島田洋子	C2(2)【水道・浄水処理/測定技術】 市木敦之/沈 尚	—
14:15 ～ 14:30	A2-5 岩本悠希(宇部工専) 社会実装化に向けた一段階水熱反応による藻油バイオ燃料製造の技術開発への取組	B2-5 毛嘉鈺(モウ カギョク)(京大) ごみ焼却主灰中磁性細粒画分に含まれる重金属の溶出挙動	C2-5 土佐光司(金沢工業大) 浄水膜薬品洗浄排水の成分分析	
14:30 ～ 14:45	A2-6 松原帆乃香(立命館大) 模擬生ごみを用いた嫌気性消化リアクターのスタートアップ及びその過程における微生物叢の解析	B2-6 曾慶康 ソウ ケイコウ(東北大) 生ごみと紙ごみの二相嫌気性消化と汚泥循環による水素およびメタン生成	C2-6 宮崎悠爾(日立造船) 繊維ろ過を用いたバンコクでの浄水現地試験	
14:45 ～ 15:00	A2-7 城田隼杜(岐阜大) 微生物燃料電池の空気正極材料の混合条件が酸素還元活性に与える影響	B2-7 長尾一毅(大阪公立大) アルカリ性物質による二酸化炭素の吸収実験法の検討	C2-7 平尾壽啓(鴻池組) PFAS 含有土壌の抽出方法に関する試験法と回収率の比較検討	

15:30~17:00	講演会(会場:全学共通教育棟 1階 811号室) 『二酸化炭素を資源化する人工光合成技術の現状と展望』 講師:大阪公立大学 人工光合成研究センター長 天尾 豊 講演概要: 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させるカーボンニュートラルの実現が喫緊の社会課題となっている。中でも太陽光エネルギーを利用して水と二酸化炭素を原料として燃料や有機物質を作り出す人工光合成はこれらの課題を解決する技術の1つとして期待されている。本講演では様々な人工光合成技術とカーボンニュートラル社会構築に向けた人工光合成技術の可能性について紹介する。
17:15~17:45	表彰式・閉会式(会場:811号室) <論文賞, プレゼンテーション賞, 実務・社会貢献賞>
18:00~19:30	交流会(会場:学術情報総合センター 1階 レストラン)

誌上発表	P1-1 井芹 寧 (温州大), <i>Microcystis sheath</i> 破壊, 細胞分散化による <i>Microcystin</i> 制御と生態修復効果 P1-2 佐藤優衣 (室蘭工大), ALE を用いた単離菌株による PHB 分解能向上の検討 P1-3 川口 諒 (九州大), 赤潮の発生要因について-東京湾の事例を用いて- P1-4 浅野昌弘 (龍谷大), 米ぬかを利用した排水中の亜鉛の除去技術の開発
------	---



問合せ先 : taikai_info@jriet.net